



第18回きりしまフォトコンテスト【入選】どこまでも

75

令和6年8月

特集 Special edition

- 変わりゆく地域活動 P2-5
- 委員会レポート P6-8
- 行政視察報告 P9
- 政務活動費執行状況 P10
- 議案審議結果 P11
- 陳情審査報告 賛否の分かれた議案 P12-18
- 一般質問 P19
- 議員と語り P19
- きりしまびと 編集後記 P20

霧島市 市議会

だより

活躍！きりしまびと

第22回



NPO法人フードバンク たららの芽会 理事長 榊 一信さん (71歳) (隼人町)

子どもたちの未来のために

「私はこれまで、たくさんの人に助けてもらって生きてきました。その時、受けた恩を返していきたい。」「生活困窮者支援をしている榊さんの原点です。溝辺町で生まれ比較的恵まれた環境の中で幼少時代を過ごしてきましたが、就職後は親の借金返済で長く苦労されたそうです。」

「子どもたちにお腹いっぱい食べさせたい」との思いがあり、令和元年7月に子ども食堂を立ち上げました。しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、思うように活動できず、登録者の都合でロッカーに食材を取りに来られる現在の方法を思いつきました。現在、58組168人の方がロッカーに登録しているそうです。善意で寄付してもらった真心のこもった食材やフードロス食材は、毎週日曜日10人前後のボランティアにより仕分けされます。

先日は、以前ロッカーを利用していただけ方から「食べ盛りの子どもたちに満足できるご飯を食べさせられて本当に感謝しかありません。正社員として頑張っていきたいと思いま



寄付の問い合わせは榊一信さんまで 電話090-4473-5606

す。まだまだ大変な方々がたくさんいると思うので、ロッカーは次の方に使ってください。」とお礼のメッセージが届いたそうです。活動を始めて5年目に入り、行政の相談窓口から緊急の食材支援の依頼が増えているようです。民間ならではのフットワークが生命線です。「今後、霧島市で生活困窮者支援に取り組んでくれる場所が更に増えてほしい。」と、榊さんは力強く話してくださいました。

次回▶ 9月 [定例会予定]

日	月	火	水	木	金	土
8/25	26	27 本会議 (初日)	28	29	30	31
9/1	2	3	本会議(一般質問)			
8	9	10 常任委員会	11 予算常任委員会	12 予算常任委員会 (予備日)	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25 本会議 (最終日)	26	27	28

日程は変更になることがあります。詳しくは議会事務局(☎64-0922)にお問い合わせください。

今月の表紙



700mの砂浜が広がる国分下井海岸。海岸沿いにはキャンプ場があり、体育館やテニスコートが備わる海浜公園も隣接しています。(国分下井)

編集後記

「教師の側から知識を授けるよりも、まず知識を求める動機を子どもたちがもつような学校が真の学校である」アメリカの哲学者ジョン・デューイ博士の言葉です。いつの時代も教育への投資は未来への投資に繋がると考えます。

今定例会においても持続可能な未来ビジョンを描き活発な議論が交わされました。私見で恐縮ですが、今号のトピックスを問われるとすれば着眼点が二つ。

一つは富隈小学校で老朽化し課題となっていた遊具施設「体育の山」の撤去に要する補正予算の可決。今、児童たちは今後の遊具設置を要望するために学校にアンケートを提案しています。これから大人がどう向き合い児童への説明責任を果たすのか。

もう一つは自治会特集。低迷する加入率の要因とは。今の時代に即したこれからの持続可能な自治会運営のあり方とは。議会が課題提起すべきテーマとしてまとめました。

「言論の府」である議会。その議場で紡ぎ出される、一つ一つの言葉の裏にある多くのドラマ。

「誰一人取り残さない」この言葉の重みと責任を受け止め、議会だよりをはじめとする広報広聴機能をさらに推進し、市民の皆さまへより丁寧な説明責任を果たしていきたいと思えます。

(久保 史睦)



霧島市議会の詳しい情報は、「霧島市議会のホームページ」をご覧ください。

霧島市議会

